

Step 1

岡山市の災害リスクを知る 〈水害・洪水〉

洪水の浸水想定を確認しましょう。
安全が確保されていれば、マンションは基本「在宅避難」です。



Point

洪水発生時には低層部にある電気・機械・排水設備が浸水することにより、停電・断水の発生、また汚水の逆流・排水不良などが起こり、マンション生活への影響が出る可能性が高くなります。

●分譲マンションの多いエリア(拡大図-2)での ライフライン被害に影響する洪水による浸水想定(計画規模:L1)

平成30年7月豪雨



東区の被害



真備の被害

洪水による浸水想定は、河川の氾濫によって浸水が発生する範囲と想定される浸水の深さなどを示しますが、洪水を引き起こす雨量については、「計画規模(L(レベル)1)」の降雨と、「想定最大規模(L(レベル)2)」の降雨の2種類を想定しています。

計画規模の降雨とは、河川整備などに関する計画の基本となる降雨で、岡山市のハザードマップでは、概ね100年～150年に1回程度の大雨を想定しています。

想定最大規模の降雨とは、想定しうる最大規模の降雨のことで、1000年に1回程度の大雨を想定しています。

(岡山市のホームページで確認できます。)

MEMO

100年に1回程度の割合といっても、100年ごとに1回発生するのではなく、毎年1/100(1%)の確率でそれを超える降雨が発生する可能性があります。

- ・100年間に2回以上発生することもあります、1回も発生しないこともあります。
- ・2年連続して発生することもあります。

(サイコロを6回振った時に、1の目が2回以上出ることあれば、1回も出ないことがあります。2回連続して1の目が出ることもあります。これと同じです。)

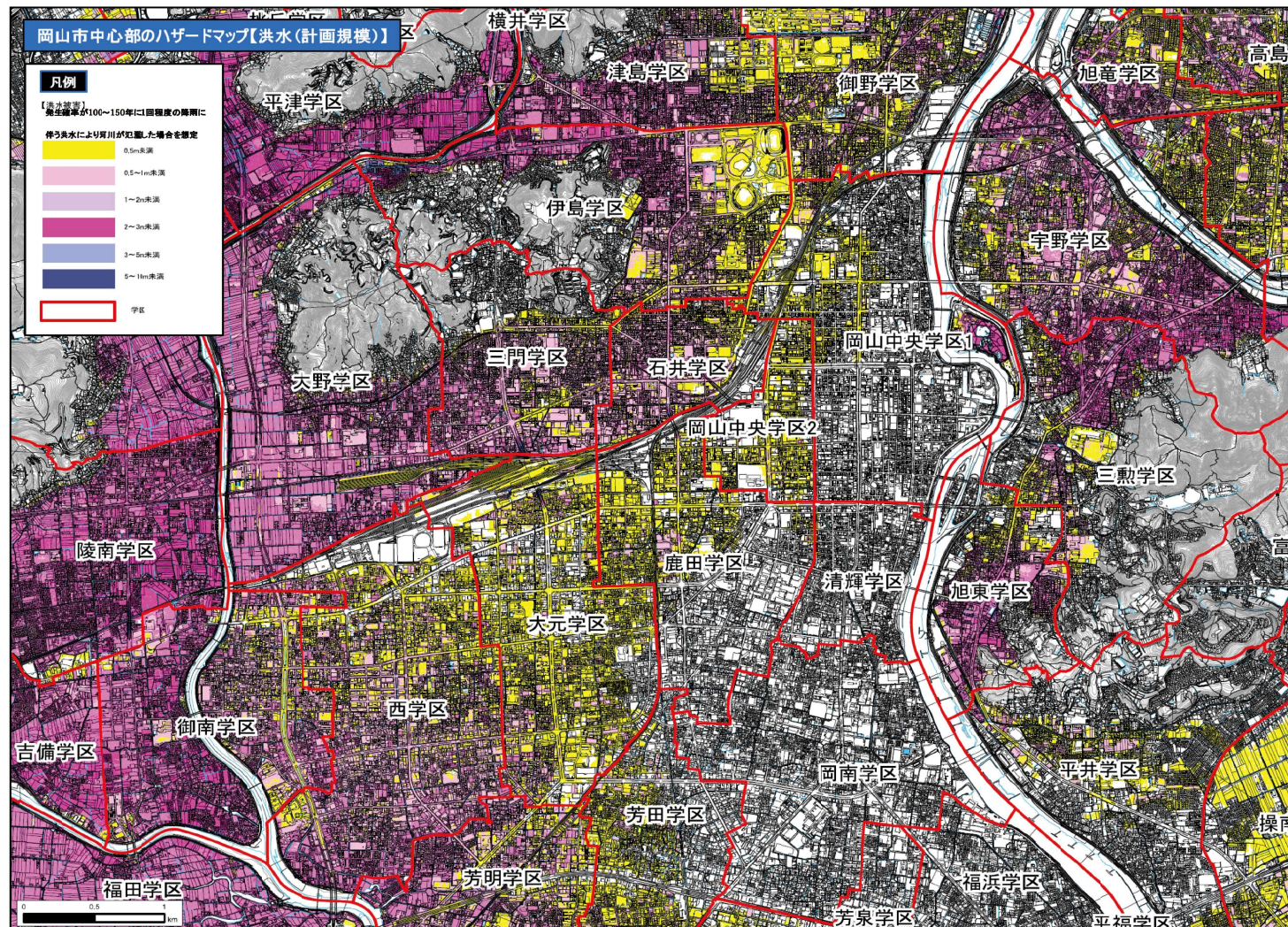


図-10 洪水(計画規模)による浸水想定〈拡大図-2〉